



自然保護の先駆者

# 南方熊楠

神社合祀に反対し、日本で最初にエコロジーの概念を提唱した郷土の偉人

1906(明治39)年、当時の政府が神社合祀令を発しました。これは、各地にたくさんある神社を合祀して、一町村一神社にするというものでした。

町村の地域ごとにまつられている神社は、住民の信仰のよりどころであり、そこにはほとんど例外なく、うっそうとした森林がありました。整理統合された神社跡の林が伐採されることで、森が育んできた数千万の生物が消え失せる危機に、熊楠は激しく怒り、反対運動を展開しました。

熊楠は地方新聞に自らの意見を発表し、さらに中央の学者たちにも働きかけました。すべての生物群集とそれらの生活に関与する環境要因とを一体と見なすエコロジーの概念を熊楠は日本で最初に提唱しています。

熊楠のひたむきな情熱がだんだん世論を動かし、1918(大正7)年には神社合祀令は廃止されました。熊楠の運動により、伐採を免れた神社林はいくつかあり、特に田辺湾の神島と中辺路町野中の継桜王子(一方杉)は有名です。



## 南方熊楠顕彰館 MINAKATA KUMAGUSU ARCHIVES

田辺市中屋敷町 36

(☎0739 26 9909) (FAX) 0739 26 9913

(✉ minakata@mb.aikis.or.jp) (☑ http://www.minakata.org/)

■開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)

■入館料 無料

(南方熊楠邸のみ有料 一般300円、高校・大学生200円、小・中学生100円)

■休館日 ①、第2・4②、③の翌日、12月28日～1月4日

(特別開館日及び臨時休館日あり)

### 第10回特別企画展「神島」

■期間 3月19日①～5月5日②③

■場所 南方熊楠顕彰館1階「学習室」

### 南方熊楠をもっと知ろう！」シリーズ第13回

第2回 南方熊楠研究奨励事業 助成研究者 研究発表会

■日時 3月26日① 13時30分～

■場所 南方熊楠顕彰館1階「学習室」